

	調査地 1	里山林整備事業地(揖斐川町谷汲長瀬府内地区)
施策区分	里山林の整備・利用の促進	
事業名	里山林整備事業	

■事業の目的

○野生鳥獣による被害の軽減など地域住民の生活環境の保全や生物多様性の保全を図るため、里山林の整備を支援し、環境を重視した里山づくりを推進する。
 ○住宅街・集落、農地周辺や生活道路沿線の森林整備等が行われることにより、里山林の快適環境形成機能や保健文化機能の維持増進を図る。

■事業の内容

○市町村森林整備計画で快適環境形成機能増進森林又は保健・文化機能維持増進森林に区分された里山林の各種森林整備事業を支援する。

・補助対象:市町村、森林組合、生産森林組合、森林組合連合会、森林整備法人、林業事業体、特定非営利活動法人等

・補助率:10/10以内

・整備の種類(補助金の額):

- ①侵入竹の除去(300千円/ha)、②森林病虫害の防除(40千円/m3)、③広葉樹等の植栽(500千円/ha)、④修景等の環境保全(125千円/ha)、⑤不用木の除去(200千円/ha)、⑥附帯施設整備(300千円/ha)、⑦既存施設の改修(5,000千円/箇所)

【H26年度事業からの拡充内容】

- ⑧危険木の除去(積み上げによる)
- ⑨バッファゾーン(緩衝帯)の整備(700千円/ha)

■H25年度までの事業実績(見込)/5年間の目標値

・743.42ha/2,600ha

*H26からメニュー拡充予定により当初目標値の2,000haから2,600haに拡大

調査地の概要

1 平成25年度整備計画(揖斐川町内)

事業主体	事業箇所	整備内容	整備面積(ha)	事業費(千円)	備考
揖斐郡森林組合	谷汲名礼	不用木の除去	50.4	10,080	
揖斐郡森林組合	揖斐川町上南方	不用木の除去	9.7	1,575	
府内地区	谷汲長瀬府内	不用木の除去	20.0	3,417	現地調査箇所
赤石地区	谷汲長瀬赤石	不用木の除去	6.0	1,083	
上長瀬地区	谷汲長瀬大山	不用木の除去	10.0	1,964	
計			96.1	18,119	

2 平成24年度実績(揖斐川町内)

(1)整備面積:21.34ha(揖斐川町上南方、谷汲長瀬地内)、(2)事業費:3,654千円

(3)住民の声: 財政的な負担もあり、手入れが行き届かず荒廃しつつある里山林が、今回の事業により整備できたことは非常にありがたい。特に、当該整備箇所は、県道沿いであり落木や倒木等により歩行者や通行者に危険が及ぼすことも懸念されていた事もあり、地域住民も安心できている。また、獣害による被害も多いことから、整備により軽減されることを期待している。当該地区内には、同様に未整備の箇所もあることから、引き続き支援をいただくとありがたい(H25.5地域住民アンケート調査結果より)

調査箇所(写真)



揖斐川町谷汲長瀬府内地区



整備対象箇所(同地区)

	調査地 2	所産業株式会社(揖斐川町谷汲長瀬地内)
施策区分	生物多様性・水環境の保全	
事業名	野生生物保護管理事業(ニホンジカ)	

■事業の目的

○県内に生息するニホンジカは約50,000頭と推定され、県特定鳥獣保護管理計画では、平成27年度までに年間15,000頭の捕獲を目指しているが、平成24年度では8,715頭(個体数調整1,362頭、有害捕獲2,745頭、狩猟4,608頭)の捕獲にとどまっている。
 ○生息密度の高い地域では、農林業被害だけでなく、交通事故等の生活環境被害の発生や下層植生への甚大な影響が懸念される状況となっており、早急な個体数調整必要であり、そのための捕獲体制の整備が急務である。
 ○このため、個体数調整を目的としたニホンジカの捕獲の推進及び捕獲体制を構築することで、農林業や生活環境等への被害軽減を図る。

■事業の内容

○ニホンジカの個体数調整のための捕獲に係る助成(生息密度が高い13市町が対象)
 ①捕獲従事者への日当 ・5,000円/日
 ②捕獲報償費 ・オス5,000円/頭、メス10,000円/頭
 ○地域の人材を活用した新たな捕獲体制整備モデル事業
 狩猟免許所持者と、免許を持たない農業者などが連携した捕獲体制の構築に対する支援
【H26年度事業からの拡充内容】
 ○わな捕獲を中心とした捕獲体制整備モデル事業
 ○わな捕獲技術向上のための研修会

■H25年度までの事業実績(見込)

○個体数調整のための捕獲
 平成24年度 1,362頭(郡上市、下呂市)
 平成25年度 2,500頭(郡上市、下呂市、山県市、大垣市、海津市、養老町、垂井町、揖斐川町、池田町)
 ○地域の人材を活用した新たな捕獲体制整備モデル事業
 所産業(株)(揖斐川町)、NPO法人メタセコイアの森の仲間たち(郡上市)

調査地の概要

■事業内容 地域の人材を活用した新たな捕獲体制整備モデル事業

■所産業(株)プロフィール

・代表取締役 所 竜也氏 ・所在地 揖斐郡揖斐川町谷汲長瀬 ・主な事業 建設業
 所氏は昨年狩猟免許を取得。狩猟期にくくりわなにより50頭のニホンジカを捕獲
 地域の有害鳥獣捕獲を進めるとともに、食肉利用も推進している

■地域と連携した捕獲体制の構築

所産業の従業員及び地域住民による8人の捕獲隊を結成(内4人が狩猟免許所持者)
 9月～11月 谷汲地内6地区において地域説明会を開催
 9月～ 捕獲隊のくくりわな研修を実施
 11月15日の狩猟期からニホンジカ、イノシシの捕獲を開始

■捕獲状況 12月9日までに、ニホンジカ26頭、イノシシ16頭捕獲

調査箇所(写真) くくりわなによるニホンジカ捕獲の状況(12月2日撮影)



	調査地 3	池田町立八幡小学校(池田町八幡地内)
施策区分	公共施設等における県産材の利用促進	
事業名	木の香る快適な教育施設等整備事業	

■事業の目的

○公共建築物等木材利用促進法の施行に基づき、公共施設等における県産材利用をより一層促進するとともに、木材利用や環境保全に対する県民の理解を深めるため、特に啓発効果の高い教育福祉関連施設や県が指定する伝統建築物等の木造化、内装木質化を支援する。
 ○県内の森林から生産される循環資源である県産材が有効に利用されることは、森林の適正な整備、ひいては、循環型社会・低炭素社会の形成をつなげるため、公共施設等への県産材利用を促進する。

■事業の内容

- ①教育福祉関連施設の木造化
 - ・補助先:市町村、学校法人、社会福祉法人、医療法人等
 - ・補助率:17,000円/m²以内(上限30,000千円)
- ②教育福祉関連施設の内装木質化
 - ・補助先:市町村、学校法人、社会福祉法人、医療法人等
 - ・補助率:10,000円/m²以内(上限30,000千円)

【H26年度事業からの拡充予定内容】

- ③伝統建築物の改修(県指定の重要文化財等)
 - ・補助先:市町村等
 - ・補助率:事業費の2/3以内(上限50,000千円)
 ただし、文化財所有者が行う事業に要する経費の1/2以内

■H25年度までの事業実績(見込)/5年間の目標値

- ・12施設/65施設

調査地の概要

○池田町立八幡小学校

【経緯】

・既設の校舎は昭和53年に建築され、築35年が経過したため老朽化が著しく、耐震診断で倒壊の危険があるとして判断され、校舎の建て替えを計画。
 ・池田町は、保育園や学校等の公共施設の木造化・木質化を積極的に進めており、本施設についても、県産材を活用した内装木質化を実施

【事業概要】

- ・事業名 :池田町立八幡小学校 改築工事(平成24-25年度事業)
- ・施設規模:鉄筋コンクリート造3階建 延床面積:5,149㎡ うち内装木質化面積:3,145㎡
- ・補助額 :30,000千円(他文部科学省の補助金:288,669千円)
- ・県産材使用量:52.98㎡(ヒノキ、スギ、クリ)
- ・県産材使用箇所:床(スギ、クリ)及び壁(ヒノキ)
- ・工期 :平成24年5月17日～平成26年2月28日
- ・設計者:大建設株式会社(岐阜市)
- ・施工者:西濃・太陽経常建設共同事業体(揖斐川町)

調査箇所(写真)



(全景)



(教室)



(廊下)